

令和5年度 播磨圏域連携中枢都市圏 連携事業進捗一覧（令和5年12月末現在）

全56事業 進捗状況： 1 実施中・実施済 55事業 2 一部実施中・一部実施済 1事業 3 検討中 0事業

役割	分野	事業名	事業概要	進捗状況	進捗概要
1 圏域全体の経済成長のけん引	産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備	1 播磨圏域経済成長戦略の推進	圏域内の企業、大学、研究機関、金融機関及び地方公共団体等で構成する播磨圏域成長戦略会議を開催し、圏域の経済成長戦略の策定及びフォローアップを行う。 ・播磨圏域成長戦略会議の開催 ・播磨圏域活性化推進検討会の開催 ・産学金官民との連携	1	①播磨圏域成長戦略会議の開催(2月) ②播磨圏域連携中枢都市圏ビジョンの修正 ③播磨圏域活性化推進検討会の開催(4回) ④連携事業のフォローアップ
		2 圏域における地域経済循環の推進	播磨圏域における地域経済循環の確立に向けた調査・検討を行う。 ・地域経済循環の分析 ・各市町の担当者及び関係団体の担当者による会議を開催し、施策の調査・検討を行う。	1	①他の圏域における地域経済循環の事業について調査を実施 ②播磨圏域産業連関表等の作成・分析
		3 播磨圏域の情報発信	関係市町の広報誌やウェブサイト等の各種広報媒体を活用し、圏域の取組について圏域住民への普及啓発を行う。 ・播磨圏域の取組を紹介する番組を制作し年間を通じてサンテレビの「はりまサタデー9」で放映 ・播磨の応援キャラクター「もりりい」の着ぐるみを活用しイベント等で播磨圏域の知名度を向上	1	①はりまサタデー9放送(16回) ②神戸マツダファンフェスタ出展(9月) ③はりま読本による播磨圏域の情報発信 ④着ぐるみ(もりりい)を活用した播磨圏域の情報発信 ⑤姫路市連携中枢都市圏ホームページの更新 ⑥播磨圏域のPR動画の作成・放映
	産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	4 新産業の創出支援	圏域のものづくり力を強化し、新産業を創出するため、高度な研究開発機能の活用を促進する。 ・放射光施設活用促進事業 ・スーパーコンピューター活用促進事業 ・科学技術基盤やものづくりに関するセミナー等の開催や情報誌等への掲載	1	①放射光施設活用促進補助金 申請 1件 ②スーパーコンピューター活用促進補助金 申請 0件 ③放射光分析実習(12月) ④姫路経済情報誌File秋号へ記事掲載「How to テクノ2023」 ⑤ものづくり力向上セミナー(中止)
		5 ものづくり支援事業	姫路ものづくり支援センターなどを通じて、圏域内の企業のものづくりを支援する各種事業を実施する。 ・ものづくりに関する技術相談への対応 ・産学連携の支援や産産(異業種間)のビジネスマッチングへの支援 ・国・県・市や各種団体等の支援情報の提供 ・特許・商標・意匠等の知的財産権取得への支援 ・新製品等販路開拓情報の提供 ・IT活用に関する技術相談への対応	1	①姫路ものづくり支援センター ものづくり技術相談、IT活用技術相談、セミナー開催 ②商工会議所が実施する圏域内における商談会の開催支援(5-3月) ③デジタル技術活用セミナー(8月) ④スポーツ・ヘルスケア産業セミナー(11月) ⑤ものづくりシンポジウム(2月) ⑥ものづくり支援制度紹介セミナー(3月)

役割	分野	事業名	事業概要	進捗状況	進捗概要
1 圏域全体の経済成長のけん引	産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成	6 起業・創業・事業承継支援	<p>起業、第二創業に向けたセミナーの開催や、若者への創業機運の醸成、事業承継の支援に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業者相談窓口の設置 ・開業ガイドブックの配布、創業セミナー等の開催 ・事業承継、第二創業を支援する企業向けセミナーの開催 	1	<ul style="list-style-type: none"> ①ひめじ創業ステーション運営 ②起業プラザひょうご姫路運営 ③さよう星降る町のビジネスコンテスト(6-12月) ④特定創業セミナー 5講座(6-2月) ⑤事業承継セミナー 2回(12、1月)
		7 イノベーションを加速する産学金官民の交流促進	<p>イノベーションを加速するため播磨圏域内外の産学金官民の交流を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はりま産学交流会などの産学交流団体の支援 ・兵庫県立大学産学連携・研究推進機構との連携・協力 ・企業・大学・学生マッチング in HIMEJIの開催 ・イノベーションを促すプラットフォームの検討 ・セミナーの開催等によるオープンイノベーションの推進 ・オープンデータの活用促進 	1	<ul style="list-style-type: none"> ①はりま産学交流会総会(5月開催) ②はりま産学交流会創造例会 4回(6-11月) ③播磨圏域ものづくりプラットフォーム 意見交換会 ④企業・大学・学生マッチング in HIMEJI2023(11月) ⑤中播磨産業ミニメッセ(12月) ⑥はりま産学交流会ものづくりシンポジウム(2月) ⑦播磨圏域ものづくりプラットフォームセミナー開催
		8 海外展開への支援	<p>中小企業の育成を図るため、新製品等の海外販路開拓を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JETRO(日本貿易振興機構)との連携 ・海外で開催される展示会等への出展支援 	1	<ul style="list-style-type: none"> ①海外展開相談事業 5回(7-2月) ②海外バイヤーが参加する展示会への出展支援(11月)
		9 ものづくり力を支える人材の育成支援	<p>企業立地に向けた魅力ある環境を構築するため、兵庫県立ものづくり大学校などのものづくり支援機関等と連携し、児童生徒の科学する心の育成や、若い世代への職業教育等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県立ものづくり大学校の利用促進 ・若者を対象としたゴム・ワン®グランプリ、姫路ロボ・チャレンジ等の開催 	1	<ul style="list-style-type: none"> ①姫路経済情報誌Fileへ記事掲載「ものづくり大学校」 ②ものづくり大学校の利用促進に向けた広報 ③ゴム・ワン®グランプリ 2回(7-12月) ④姫路・ロボチャレンジ(12月)
		10 企業誘致の推進	<p>各市町の持つ情報の共有、連携した企業訪問、情報の共同発信等による広域的な企業誘致を行い、圏域全体の産業振興に繋げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域連携・中枢都市企業投資動向アンケート調査 ・広域連携パンフレット「ハーモニーハリマ」作成 	1	<ul style="list-style-type: none"> ①広域連携パンフレット作成(7-9月) ②広域連携・中枢都市企業投資動向アンケート調査(10月) ③アンケート調査結果共有(12月以降)
	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	11 「播磨地域ブランド」の確立	<p>播磨圏域連携中枢都市8市8町にて、農水産品等をはじめとする播磨地域の地場産品のブランド化、付加価値の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オフィシャルWebサイトの運用(アーカイブ、動画など) ・全国規模の展示会への出展 ・地域醸造のガイドブックの配布 ・「はりまの酒」GI取得後のPR 	1	<ul style="list-style-type: none"> ①オフィシャルWebサイトの運用 アーカイブ、動画、醸造関連商品・事業者紹介など ②醸造文化を学ぶ絵本の活用 ③播磨地域ブランド会議 2回(11、3月) ④地域醸造のガイドブック配布 ⑤在仏日本大使公邸GIはりまPREセプション等(10月)
		12 地場産品の販路開拓支援	<p>播磨の地場産品を圏域内外でPRし、販路拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内での醸造イベント(食育ワークショップ・ポップアップイベント)の開催・マルシェ等への出店 ・取扱店の確保など、売場拡大の取組 ・商工会議所、商工会が実施する圏域内における商談会の開催支援及び商談成立に向けた相談支援 	1	<ul style="list-style-type: none"> ①姫路商工会議所、姫路市商工会が実施する圏域内における商談会の開催支援 ②飲食店、流通業者との販売協力体制の構築 ③圏域内での醸造イベントの開催・マルシェ等への出店 ④取扱店の確保など売場拡大の取組 ⑤消費者向けPRイベントの実施

役割	分野	事業名	事業概要	進捗状況	進捗概要
1 圏域全体の経済成長のけん引	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	13 農商工等連携の推進	農水産物の生産技術等の研究や競争力強化に向け、生産者・商工業者・大学等との農商工等連携を推進する。 ・農業団体等の関係機関との連携 ・大学と連携した水産資源の養殖技術研究 等	1	①農商工等マッチング商談会(8月6日・9月30日・10月1日・12月22日・2月14日) ②産官学協働マアナゴ研究事業 孵化した仔魚の育成を目指す
	戦略的な観光施策	14 圏域の観光動向の把握	戦略的な広域観光を推進するため、圏域内の観光動向について把握等を行う。	1	①事務主管者会議(8月) 調査手法の検討 ②第1回姫路市観光動向調査実施(5月) ③第2回姫路市観光動向調査実施(9月) ④第3回姫路市観光動向調査実施(12月) ⑤第4回姫路市観光動向調査実施(2月)
		15 広域観光の推進	圏域の多様な観光素材を活用した広域観光ルートの設定や圏域の魅力発信を行い、滞在型観光を推進する。 ・地域の観光素材の発掘、充実 ・日本遺産の活用 ・観光ニーズに合わせた広域観光ルートの設定 ・プロモーション活動やファミツアーの実施 ・西播磨観光協議会など広域観光団体との連携	1	①事務主管者会議(8月) ②パンフレット設置(10-11月) ③広域観光パンフレット「姫路・はりま」の改訂(2-3月) ④圏域の日本遺産等の観光キャンペーン ⑤観光キャンペーン等での圏域の観光情報PR ⑥姫路市内の大規模集客イベントでパンフレット配布 ⑦セミナー・商談会への参加 2回 ⑧観光ウェブサイト「はりま路をゆく」運営 ⑨姫路市観光案内所に播磨圏域PRブース設置 ⑩圏域の観光案内所での相互PR ⑪西播磨観光協議会など広域観光団体との連携 観光キャンペーン、会員向けセミナー、講演会開催
		16 インバウンド観光の推進	外国人観光客の受入体制の整備や、海外への多様な観光情報の発信により、外国人観光客の誘致を促進する。 ・外国語パンフレット等の作成、Wi-Fi環境及び誘導サインの充実 ・食の多様性に対応した受入環境の充実 ・日本政府観光局(JNTO)Webサイトや観光情報誌等への観光情報の掲載 ・オリンピック等スポーツイベントや万博等に合わせた圏域観光情報の発信強化	1	①事務主管者会議(8月) ②着地型観光プログラム新規開発、情報発信 ③関西観光本部との外国人観光客誘致に向けた各種連携・情報発信 播磨圏域をストーリー化し大阪万博までに外国からの誘客を図る
		17 大規模集客イベントの開催・PR	関係市町及び関係機関・団体とともに、広域的な視点を盛り込んだ大規模集客イベントを開催し、訪れた観光客に圏域の観光資源や特産品等の魅力を発信し、更なる交流人口の増加を図る。	1	①事務主管者会議(8月) ②姫路お城まつりに連携市町のブース出展(11月) ③姫路城観月会の実施(9月) ④姫路城ナイトイベントの開催(11-12月) ⑤各種大規模集客イベントの開催
		18 広域対応型MICEの誘致	関係市町及び関係機関・団体とともに、大規模会議等の誘致活動及び支援を行い、世界遺産や国宝などの歴史的建造物をはじめ、豊かな食文化や風土・自然など様々な観光資源を活用し、圏域での広域対応型MICE誘致を推進する。 ・国際会議等の誘致、開催支援 ・ユニークベニユアの充実 ・地域資源を活用したエクスカーションの充実 ・文化コンベンションセンターの活用に向けた検討 ・圏域内関連ビジネスとのマッチングの促進	1	①事務主管者会議(8月開催) ②コンベンション商談会への出展 1回 ③コンベンション展示会への出展 4回 ④東京・大阪の学会等への誘致活動 ⑤圏域の大学・研究機関等への働きかけ ⑥コンベンション経済波及効果等調査

役割	分野	事業名	事業概要	進捗状況	進捗概要
2 高次の都市機能の集積・強化	高度な医療サービスの提供	19 二次救急医療体制の確保	姫路市休日・夜間急病センターで対応が困難な重症患者を移送するため、後送輪番医療機関におけるベッド及び医療従事者の確保を図る。	1	①救急医療施設後送委託事業の実施 診療科:夜間 6、休日昼間 9 ②救急医療従事者確保緊急対策事業の実施 ③小児・周産期救急医療体制整備事業の実施
		20 三次救急医療機関への運営支援	県立はりま姫路総合医療センターと用地の無償貸付や高度シミュレーター活用による医療人材の育成など連携を図る。	1	①県立はりま姫路総合医療センターに対する土地の無償貸与 ②高度シミュレーター活用による医療人材の育成支援
		21 医療従事者の確保	臨床研修医への奨励金貸与、市内臨床研修病院と連携した、医学生向け就職説明会への参加や、看護師病院合同就職説明会の開催など、医療従事者確保に取り組む。	1	①医学生向け就職説明会への姫路市内医療機関の参加(6月) ②看護師病院合同就職説明会(1月) ③臨床研修医奨励金事業の実施
高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	22 姫路駅周辺整備事業の推進	播磨の玄関口である姫路駅周辺を整備し、魅力ある都心空間を形成する。 ・JR姫路駅北駅前広場等を中心とするエントランスゾーンの管理及び圏域の住民や観光客が集う「賑わい・憩いの空間」としての活用促進 ・JR姫路駅東側に位置するキャスティタウンにおける、回遊性の向上と新たな賑わいの創出 ・イベントゾーンにおける、播磨の連携中枢都市にふさわしい交流の拠点としての姫路市文化コンベンションセンター及びキャスティ21公園の一体的な整備 ・JR姫路駅南側の美装化と防災機能の向上 ・姫路駅周辺土地区画整理事業による「姫路の顔づくり」「播磨の顔づくり」としてふさわしい街区の形成	1	①姫路駅北駅前広場等の管理 ②JR姫路駅南側の美装化等 ③姫路駅周辺土地区画整理事業	
		23 都市交通システムの整備促進	鉄道駅のバリアフリー化や交通結節点機能の整備により、公共交通の利用環境を改善する。 ・山陽電鉄飾磨駅北側改札口新設事業 ・山陽電鉄大塩駅の橋上駅化、駅前広場及び駅周辺道路のバリアフリー化 ・JR英賀保駅北改札口設置事業 ・JR姫路・英賀保間新駅の整備計画の推進 ・太市駅周辺整備事業	1	①山陽電鉄飾磨駅北側改札口新設事業 ②山陽電鉄大塩駅の橋上駅化、駅前広場及び駅周辺道路のバリアフリー化 ③JR英賀保駅北改札口設置 ④手柄山JR新駅の整備 ⑤太市駅周辺整備
高等教育・研究開発の環境整備	24 市内大学及び連携大学支援	市内大学と播磨圏域連携中枢都市圏にある企業との協同研究や、本市の政策に提案等を行い、かつ本市と包括連携協定を締結している大学の教員・学生等による研究活動に対して助成を行う。 ・奨学学術振興事業(産学協同研究助成金) ・姫路市大学発まちづくり研究助成事業	1	①産学協同研究助成の実施 申請 9件、助成 7件:1,248万円(見込) ②姫路市大学発まちづくり研究助成の実施 申請 15件、助成 9件:473万円(見込)	

役割	分野	事業名	事業概要	進捗状況	進捗概要
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	感染症予防対策及び健康管理等の強化	25 新型インフルエンザ等の予防対策と医療機関受診に関する連携	新型インフルエンザ等の感染症の予防に連携して取り組む。 ・感染症発生時の医療機関受診や住民接種における対応に関する意見交換	1	広域での高齢者インフルエンザ予防接種の実施(10-1月) 姫路市、たつの市、太子町
		26 ライフステージに応じた広域的ながん対策の推進	がん検診(5大がん)受診率の向上をめざした、職域を巻き込んだ啓発活動の推進、AYA世代への啓発活動及びがん患者に対する広域的な対策を検討する。	1	①子宮がんについての講演会(みらいえ)(7月) ②ピンクリボン姫路城ライトアップ(10月) ③ピンクリボン街頭キャンペーン(姫路駅北側)(10月) ④「アクリエひめじ」「姫路市保健所」ピンクライトアップ(10月) ⑤ピンクリボンキルト展(姫路市保健所・みらいえ・飾磨支所・南保健センター)(10月) ⑥各種がん検診についての啓発(5-2月)
	成年後見支援体制の充実	27 成年後見支援センター事業に関する連携	姫路市社会福祉協議会が運営する姫路市成年後見支援センターが実施する、成年後見制度に係る各種相談業務等の共同利用について協議・検討する。	1	一般相談及び専門相談への対応(1,122件)
		28 成年後見制度の普及啓発	関係市町全体で成年後見支援制度に係る普及啓発を図るため、姫路市が開催する権利擁護フォーラム、市民後見人養成講座等への圏域住民による参加及び活用を協議、検討する。	1	①市民後見人養成講座開催(7-2月)受講者13名 ②公開講座開催(10-11月)全3回、延参加者203名(3名) ③姫路市権利擁護フォーラム開催(1月)
	スポーツ振興	29 スポーツ合宿・スポーツ大会等の誘致促進	各種スポーツ合宿・スポーツ大会や教室、講演会等の開催に伴う事前合宿等の誘致を通じたスポーツ振興施策等について協議・検討する。	1	① 9/10、ラグビーワールドカップ2023パブリックビューイングの開催 ②12/9、トップアスリートを招いたスポーツ教室の開催 ③ 第67回全日本学生空手道選手権大会(7.1-7.2)で連携市町の観光PRを実施
		30 スポーツ関連情報交換の促進による地域間交流の推進	関係市町のスポーツイベントやスポーツ施設に関する情報発信を強化し、イベント参加者や施設利用者の地域間交流を推進する。 ・ひめじスポーツコミッションのホームページの活用 ・関係市町によるイベント情報等の共有と周知への協力	1	①スポーツイベントやスポーツ施設の情報発信 ②メール等による連携市町担当者の情報共有
		31 スポーツ指導者の育成	関係市町から参加者を募り、スポーツメディカル研修会を開催する。	1	2月、スポーツトレーナーを招いた講演・研修会を開催(2月)
	文化芸術振興	32 文化芸術活動の推進	関係市町が実施している文化芸術に関するイベント等の情報を集約し、各市町が有する様々な広報媒体を通じて情報発信するとともに、各イベント等への住民の参加を促す。 ・文化情報姫路の発行 ・文化情報赤穂の発行 ・ル・ボン国際音楽祭の共同開催(姫路市及び赤穂市)	1	①9/23~10/7 ル・ボン国際音楽祭の共同開催(姫路市及び赤穂市) ②音楽のまち・ひめじHPでの情報発信 ③文化情報姫路、文化情報赤穂の発行
	公立夜間中学による就学の機会の提供	33 公立夜間中学による就学の機会の提供	令和5年4月に開校する姫路市立あかつき中学校について、圏域内の住民に十分な広報を行い、義務教育を受ける機会を実質的に保障し、圏域内の多様な学びの場の充実を図る。	1	① 随時、姫路市立あかつき中学校にて、入学等に関する個別相談受付(9月まで当該年度で入学可能) ②通年、姫路市立あかつき中学校に関する広報活動(広報チラシ等作成の際は、圏域市町の教育委員会にも情報提供) ③姫路市立あかつき中学校体験会・入学説明会の開催(11月、2月)
	社会教育施設の相互利用	34 博物館等の相互利用促進	関係市町内に所在する博物館等の利用について、関係市町在住の4歳児から中学3年生までの幼児・児童・生徒を対象に利用条件の統一化など相互利用拡大を図る。	1	どんぐりカード配布

役割	分野	事業名	事業概要	進捗状況	進捗概要
		35 図書館の相互利用促進	関係市町が設置する図書館において、関係市町在住の住民に対して、相互に図書の出借等のサービスを提供する。また、利用者の利便性向上のためにマイナンバーカードでの図書貸出の相互利用についても推進する。	1	①図書館相互利用 ②マイナンバーカードを用いた貸出 姫路市、相生市、赤穂市、神河町、福崎町、たつの市、加西市、市川町、宍粟市 ③マイナンバーカードの住民への啓発 ④電子図書館の圏域住民の利用(加古川市、赤穂市、姫路市、加西市)
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	社会教育施設の相互利用	36 姫路市男女共同参画推進センター「あいめっせ」の利用促進	男女共同参画の推進に関する学習、啓発などの活動を行っている圏域内の団体に活動の場と情報の提供を行い、市民交流の促進とその活動を支援する。	1	①あいめっせフェスティバルの開催(11月) ②登録団体への支援 センター使用料の減額、申込の優先、活動室等の利用等
		37 姫路市市民活動・ボランティアサポートセンターの利用促進	公益性のある市民活動を行っている圏域内の団体に活動の場と情報の提供を行い、市民交流の促進とその活動を支援する。	1	①登録団体の要件緩和 ②ボランティア関連情報の発信(4-12月)
	文化財等の保護及び活用	38 郷土資料デジタルアーカイブの運営	関係市町と共同で構築した、郷土資料をインターネット上で閲覧可能な郷土資料デジタルアーカイブシステムを管理運営する。	1	①デジタル化資料の掲載 ②姫路市、赤穂市のデジタル化資料を掲載(3月)
雇用対策	39 若年者等の就業支援	関係機関と連携し、圏域内の若者から高齢者まで幅広い方の就労・活用につながる各種就労支援事業を実施する。 ・雇用促進対策総合支援事業 ・合同就職説明会等の共同開催 ・若年層への就労支援 ・女性就労支援事業 ・姫路しごと支援センターの活用 ・ひめじIU定住奨学金返還支援制度	1	①雇用促進対策総合支援事業「あつと！姫路」の実施 人事担当者向けセミナー 7回 参加企業延べ 73社(6,7,8,9,10,11月) 合同説明会 3回(6,10月) 参加企業延べ 22社、来場者延べ 82名 1Day合同シゴト体験 2回 参加企業延べ 5社、参加者延べ 18名(9,11月) ワークショップ 参加企業 8社、参加者 13名(9月) ②合同就職説明会等の共同開催 5回(7,10,11,12,3月) 合同就職面接会「JOBフェアin播磨2023」 参加企業 26社(加古川市)(7月) 合同企業説明会「高校生のJOBフェアin播磨2023」 参加企業 30社(10月) 合同企業説明会「STEP HARIMA2022」 1回 (12月) ③学生等就職支援事業(県市共同分) 高校と企業の懇談会 参加高校 28校(37名)、企業 50社(6月) 中播磨企業の大学出前セミナー 福井大学、参加企業 6社(11月) ④魅力発見ツアー 参加 36名(10月) ⑤ひめじIU定住奨学金返還支援制度申請受付(4-1月) ⑥女性就労支援事業の実施 ⑦姫路しごと支援センターの活用 ⑧事業内職業訓練助成事業の実施 ⑨地域密着型就職支援サイト「JOB播磨」の運営 他市取組内容 ①ひめじ若者サポートステーション出張相談 48回 (太子町、相生市、佐用町、上郡町、宍粟市、たつの市、市川町、神河町) ②わかものサポートステーション出張相談 6回(福崎町) ③若者就業サポート相談会 6回(赤穂市)	

役割	分野	事業名	事業概要	進捗状況	進捗概要
	多文化共生社会の推進	40 地域住民及び在住外国人等の交流促進	日本語教室や国際交流に関するイベント等の情報を集約し、住民及び在住外国人に情報提供し、圏域在住外国人の生活サポートを行うとともに、圏域内の在住外国人が利用できる、情報提供や相談対応を行う相談窓口を設置・運営する。 ・日本語教室や国際交流に関するイベント等の情報発信 ・在住外国人サポート事業 ・姫路市外国人相談センターの活用	1	①事務担当者会議(6月) ②ひめじ国際交流フェスティバルにブース出展 ③姫路市外国人相談センター運営 相談 584件(市外28件)※11月末時点 ④日本語教室や国際交流イベント等の情報発信
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	災害対策	41 自然災害等対策	播磨広域連携協議会を通じて、地震等の自然災害の発生を想定した防災講習会や図上訓練、情報伝達訓練等を実施し、関係市町全体で減災・防災体制の連携を図る。	1	①防災担当事務主管者全体会議(4月) ②播磨広域情報伝達訓練の実施(8月) ③防災担当事務主管者全体会議(2月) ④広域的な避難計画作成
		42 備蓄物資・訓練資機材等の情報共有	関係市町が有する備蓄物資・訓練資機材等の情報を共有するなど、地域防災力の向上に向けた協議・検討を行う。 ・備蓄物資・訓練資機材等の情報共有 ・各市町の被害想定や避難所情報の共有 ・広域避難計画の作成	1	備蓄物資・訓練資機材等の情報共有(2月)
		43 救急搬送支援システムの広域化	救急搬送システムを共同運用し、円滑かつ迅速な救急搬送体制を確保する。	1	① 通年、システムの運用 ②7月、11月、システム担当者会議
	地球温暖化対策	44 環境意識の啓発	・圏域住民の環境意識の向上や脱炭素社会・水素社会の実現につなげるため、各種啓発事業等に取り組むとともに、関係市町の取組について、情報交換を行う。 ・家庭用蓄電システムの普及促進 ・脱炭素セミナーの開催 ・食品ロス削減運動の推進 ・資源ごみ回収及び生ごみ減量運動の推進	1	①姫路市蓄電システム補助金募集開始(4月) 圏域外事業者から蓄電システムを購入した場合には補助単価半額 239件(宍粟市 3件、加古川市 13件、加西市 2件、太子町 2件) ②脱炭素セミナーの開催(1月) ③播磨圏域連携中枢都市圏食品ロスもったいない運動(通年) ④食品ロス削減運動啓発(姫路市、たつの市) ⑤資源ごみ回収運動(福崎町、神河町、太子町、上郡町、佐用町) ⑥生ごみ減量運動(福崎町、神河町、佐用町)
	地域公共交通ネットワークの維持・形成	45 広域連携バス路線網等の維持・形成	路線バス及びコミュニティバスは、通勤・通学、通院、買い物等、住民の日常生活を支える不可欠な公共交通である。補助制度を活用しながら各市町や県と連携し路線の維持確保を図るとともに、乗合バス等の利用促進に取り組む。 ・広域バス路線の確保維持 ・広域連携コミュニティバスの運行	1	①高砂市地域公共交通会議(5月) 高砂市じょうとんバスの運行に係る審議 ②姫路市地域公共交通会議陸運分科会(6月) 高砂市じょうとんバスの運行に係る審議 ③福崎町地域公共交通活性化協議会(6月) 福崎町・姫路市連携コミバス国庫補助申請の審議 ④兵庫県生活交通対策地域協議会(6月書面開催) ⑤令和6年度市町振興支援交付金(路線バス運行)の申請(9月) ⑥福崎町地域公共交通活性化協議会(1月) 福崎町・姫路市連携コミバス事業評価(自己評価)の審議 ⑦福崎町・姫路市連携コミバス本格運行(通年) ⑧じょうとんバス運行(高砂-姫路 令和5年9月30日まで)

役割	分野	事業名	事業概要	進捗状況	進捗概要
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	地域公共交通ネットワークの維持・形成	46 JR山陽本線環境整備	山陽本線沿線市町連絡会を通じて、JR山陽本線(神戸線及び赤穂線)の環境整備及び利便性向上を図るための要望活動等を行う。 各市町は地域公共交通の拠点となる駅周辺の整備等により、連携中枢都市及び連携市町へのアクセス等利便性の向上及び利用促進による交通体系の維持に取り組む。	1	①連絡会事務主管者会議(7月) ②連絡会総会(8月) ③JR兵庫支社要望会(8月)
		47 JR姫新線利用促進	姫新線利用促進・活性化同盟会を通じて、JR姫新線輸送改善事業に取り組み、JR姫新線の速達性、快適性の向上を進めるとともに、バスアクセスの充実やパーク&ライド駐車場整備、姫新線サポーターの育成支援などを推進する。 各市町における地域公共交通の拠点となる駅ならびに駅周辺の整備及び管理運営により、連携中枢都市及び連携市町へのアクセス等利便性の向上及び利用促進による交通体系の維持に取り組む。	1	①同盟会総会(7月) ②JR兵庫支社要望会(10月) ③同盟会担当者会議 3回 ④姫新線を利用したイベントの開催(通年)
		48 JR播但線利用促進	日本海と瀬戸内海を結ぶ播但線鉄道整備・利用促進協議会を通じて、JR播但線の鉄道整備の促進をはじめ、利用促進等に関して連携して取り組む。 また、各市町において地域公共交通の拠点となる駅周辺の整備等により、連携中枢都市及び連携市町へのアクセス等利便性の向上及び利用促進による交通体系の維持に取り組む。	1	①協議会事務主管者会議(6、2月) ②協議会総会(7月) ③利用促進部会(8、10月) ④JR兵庫支社への要望会の開催(10月) ⑤協議会全体会(12月) ⑥播但線を利用したイベントの開催(通年)
	広域幹線道路網の整備促進	49 播磨臨海地域道路網の整備促進	播磨臨海地域道路網協議会を通じて、高規格な東西幹線道路網の整備促進に連携して取り組む。 ・国・県への要望活動 ・経済界、市民団体等との連携促進 ・地域の企業や住民が参加する整備促進大会の開催 ・国・県が行う調査・検討への参画、協力 ・播磨臨海地域道路に付随する幹線道路等の配置検討	1	①国の予算編成に対する国会議員要望(5月) ②国の予算編成に対する省庁要望(6月) ③整備促進大会を開催し国土交通省へ要望(7月) ④近畿国道協議会 総決起大会 ⑤兵庫県議会議員への要望(9月) ⑥兵庫県知事への要望(10月) ⑦近畿国道協議会から省庁要望(11月) ⑧近畿国道協議会意見交換会(11月) ⑨国の予算編成に対する省庁要望(11月) ⑩国、県の詳細ルート等の検討への協力 ⑪補足調査、検討の実施 ⑫播磨臨海地域道路網協議会の運営
移住・定住対策	50 移住・定住の促進	地方への新しい人の流れをつくるため、関係市町全体で移住・定住促進を図る。 ・関係市町の移住・定住促進に係る情報を集約したパンフレットの作成 ・大都市圏での各種PR・相談会に出展し、情報提供 ・一定の要件を満たす東京圏からの移住者に対する移住支援金の交付 ・高校生への播磨の魅力発信	1	①おいでや！いなか暮らしフェアin大阪(7月) ②テーマから探す！移住フェアin東京(8月) ③ふるさと回帰フェアin東京(9月) ④FMGENKIによる播磨圏域のPR ⑤東京圏からの移住支援金の交付(通年)	

役割	分野	事業名	事業概要	進捗状況	進捗概要
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	人材育成・交流	51 関係市町との人材育成・交流	行政マネジメント力の向上を図るため、短期間の職員交流や共通の行政課題についての合同研修等により、関係市町の先進的な取組を学ぶ機会を設ける。 ・人事主管者会議 ・職員研修担当者会議 ・デジタル担当者会議 ・営繕業務技術研修会 ・PPP/PFI研修会	1	①4市人事主管者会議(8月書面開催) ②4市人事主管者会議(12月) ③県下21市人事主管者会議(10月書面開催) ④デジタル担当者会議(9月、1月) ⑤職員研修担当者会議 ⑥営繕業務技術研修会 ⑦PPP/PFI研修会
		52 文化財担当者の連携体制の構築	文化財の保存・活用等に向け、圏域内における専門職員の協力体制を構築する。	2	事務担当者会議の開催(1月)
		53 公共施設マネジメントの推進	圏域内の公共施設の総合的かつ計画的な管理の推進と保有量の最適化、財政負担の軽減・平準化を図るため、圏域内の公共施設の情報共有を図る。 ・PPPに関する知識を習得する場を設ける。 ・関係市町の事例紹介・意見交換する場を設ける。	1	①公共施設の共同利用・機能分化ワーキング(4月) (姫路市、高砂市、福崎町、太子町、兵庫県) ②公共施設マネジメント管理職研修(11月) ③指定管理者制度に関する研修会の開催(3月) ④民間事業者への合同説明会の実施(3月) PPPの事例紹介・各市町募集案件の紹介
		54 地方分権制度及び特区等の活用促進	圏域市町の様々な地域課題の解決を図るため、国県への要望活動等を共同で実施する。 ・国・県の施策や予算に向けた要望活動 ・規制緩和等の提案募集制度活用に向けたセミナー等開催、共同提案 ・構造改革特区、国家戦略特区の共同申請に向けた検討 ・提案募集制度を活用したさらなる地方分権の推進	1	①国・県の施策や予算に向けた要望活動(5-11月) ②特区制度の活用に向けた検討
		55 新たな連携事業の検討	関係市町の連携体制を構築し、下記の取組について事業化に向けた検討を行う。 ・ICTを活用した認知症高齢者や児童等を対象とする見守りサービスの実施 ・圏域内における播磨産木材の加工・流通システムの構築	1	①「見守りサービス」 事業化に向けた協議※現時点での事業化が困難と判断 ②「播磨産木材」 播磨産木材の加工・流通システムの構築に向けた検討(姫路市・宍粟市) ③下記の取組について連携事業化を検討。 ・ICTを活用した医療・介護などの地域包括ケア資源の共有 ・消防本部等で実施する防火管理者講習のオンライン化及び広域運用
		56 職員研修事業	播磨自治研修協議会を通じて、関係市町の職員の資質及び公務能力の向上を図ることを目的に、関係市町の職員に対する研修事業を共同で推進する。	1	①播磨自治研修協議会総会(4月) ②研修担当者会議の実施(9月) ③事務主管者会議の実施(2月) ④各種研修の実施 26講座、922人